

諏訪岳～唐沢山山行報告

【山行日】2023年 2月19(日) 晴れ一時雨

【集合】岩舟支所 P AM 8:00

【費用】マイカー2台 : 400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:大西、飯口、
植竹、大塚、嶋田、島田、鈴木ミ、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P8:00＝京路戸公園

P8:25/8:35～京路戸峠 8:55～諏訪岳 9:25/9:35～

京路戸峠 10:00～見晴休憩所 10:25/10:35～

唐沢神社 11:05/11:10～レストハウ 11:30/12:55

～高鳥屋山 13:25/13:30～見晴休憩所

13:40/13:50～京路戸公園 P14:25/14:35＝あわしま堂 14:50/15:10＝道の駅「どまんなかたぬま」

15:20/15:35＝岩舟支所 P16:00

今日は房総の烏場山に出かける計だったが、房総方面は風が強く風速20mの予報なので近場の諏訪岳～唐沢山に変更した。烏場山は一昨年、昨年と計画したがコロナで中止となり、3年連続



で中止を余儀なくされた。近場の山行なので岩舟支所を8時とゆっくり出発し、登山口の京路戸公園駐車場へ向かう。途中、道の駅「どまんなかたぬま」に寄り、トイレを済ませ京路戸公園駐車場に着く。支度を整えストレッチを済ませたら、京路戸峠に向かって出発する。駐車場を出て左に進み、植林帯の中を緩やかに登ると京路戸峠に着く。ベンチが置かれており、小休止して衣服調整と水分補給を行う。峠から左に進むと直ぐに西尾根から諏訪岳への分岐があるが、直進して南

面をトラバースし南側から諏訪岳へ登る道がある。ここからの登山道は急登で、諏訪岳山頂まで直

登で登って行く。途中、4本のロープが設置され、ロープを頼りに急坂を登って行く。

しばらく登ると傾斜が緩くなり諏訪岳の南肩に出、ゆるやかな尾根を進むと山頂に着く。

山頂には三角点と丸太のベンチが置かれ、西側に上州の山や日光連山の展望が得られるが、今日は霞んでいて見る事が出来なかった。小休止してリンゴや菓子をいただき、記念写真を撮ったら唐沢山へ向かう。

山頂から西に延びる尾根を下り、北側に田沼の街並みや山並みが見渡せ、とても気持ち良く歩ける。京路戸峠まで戻り、ここからは関東ふれあいの道の「松風の道」を進む。



アップダウンを繰り返しながら松混じりの尾根を進み、林道に出て直ぐに右の階段状の道を登ると



見晴休憩所に着く。ベンチやテーブルが置かれ休憩には良い場所だが、南側にアンテナの建屋があり見晴は良くない。大休止してコーヒータイムを取り、ぶんたんやチョコ菓子が出され美味しくいただいた。ここから下ると林道を歩くようになり、直ぐに高鳥屋山への道があったが、帰りに登ることにして林道を進む。途中から山道に入り、キャンプ場の東を巻くように進むと唐沢神社の前に出る。石段を登ると立派な神社が建ち、ここが唐沢山の山頂である。神社に参拝して無事下

山をお願い、西側から三の丸に向かって降りて行く。唐沢山全体が唐沢城の城跡であり、当時の石垣が残されていて見応えがある。城跡の中を歩いて行くと大きな井戸の脇を進み、石垣で築かれた「ます形」を抜けるとレストハウスに着く。

レストハウスで昼食を注文すると、蕎麦は直ぐできるがご飯ものは12時過ぎないと出来ないとの事。5名は蕎麦を頼みすぐに食べられたが、4名はカツ重やカレーライスを頼み45分待たされた。さらにカツ重の数を間違えて、1個は15分後によく出て来た。普通なら怒る所だが12時頃から小雨が落ちて来て、昼食が遅かったお蔭で濡れずに済んだのでラッキーと思えた。レストハウスを出た時は少し雨粒を感じたが、レインウエアーを着るほどではなく歩けた。高鳥屋山へ登るころには雨が上がり、山頂に着くと晴れ間が出て来た。高鳥屋山山頂は展望が良いが、今日は霞んでいて遠望は効かなかった。記念写真を撮ったら東側の尾根を下り、林道に出て登り返すと見晴休憩所に着く。ここで最後の休憩を取り、残ったおやつを全部出してティータイムを取る。ここからは往路を戻り、予定通り京路戸公園へ戻った。



帰りにあわしま堂と道の駅「どまんなかたぬま」で買い物し、無事岩舟支所に帰着した。